

新玉地区



【地区の自然環境概要】

新玉地区は、街の要素を持つ地区です。

小田原駅から北東 1 ～ 2 km に位置し、相模湾や山王川に近接した、水辺環境へ徒歩でもアクセス可能な地区です。

土地利用は、5 割以上を住宅地が占め、市街地や住宅地を好む動植物の生育・生息の場となっています。



【地区で見られる動植物】

市街地の中にある緑は動植物にとっての大切な生育・生息の場です。また、近接する水辺や里地里山環境を利用する動植物も見られます。

- 市街地の神社・寺院では、アオダイショウやシロマガラなどの爬虫類も多く確認され¹、ツバメやスズメ、ウグイス等の鳥類やニホンヤモリ等の爬虫類など、市街地から里地里山にかけてよく見ることのできる身近な種も確認されています。²
- 河川などの水辺環境や里地里山環境に近接しており、カワセミ等の水辺を利用する鳥類や、コゲラやシジウカラ等の森林を利用する鳥類も確認されています。³



カワセミ



コゲラ



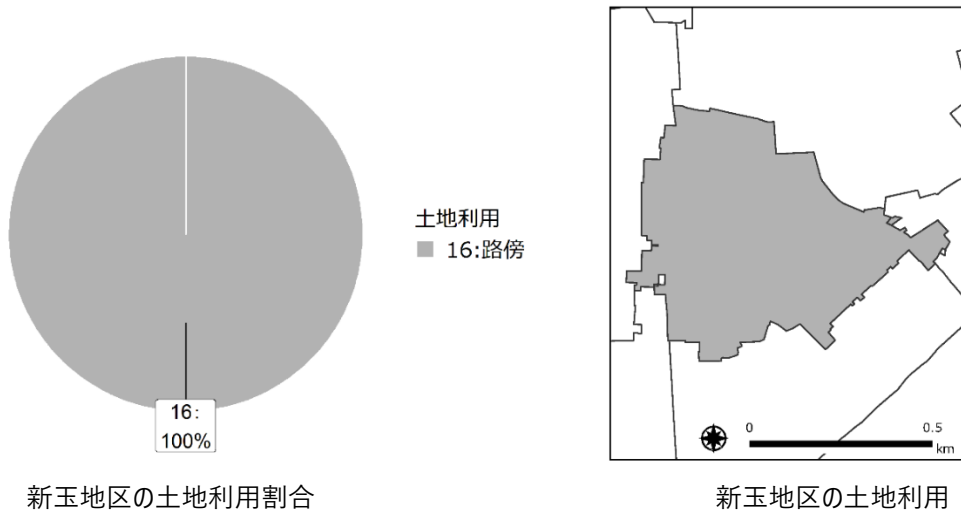
シジウカラ

¹ 参考：平成 29 年（2017 年）～令和元年（2019 年）に実施したヒアリング調査結果

² 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

³ 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、路傍が 10 割を占めています。⁴

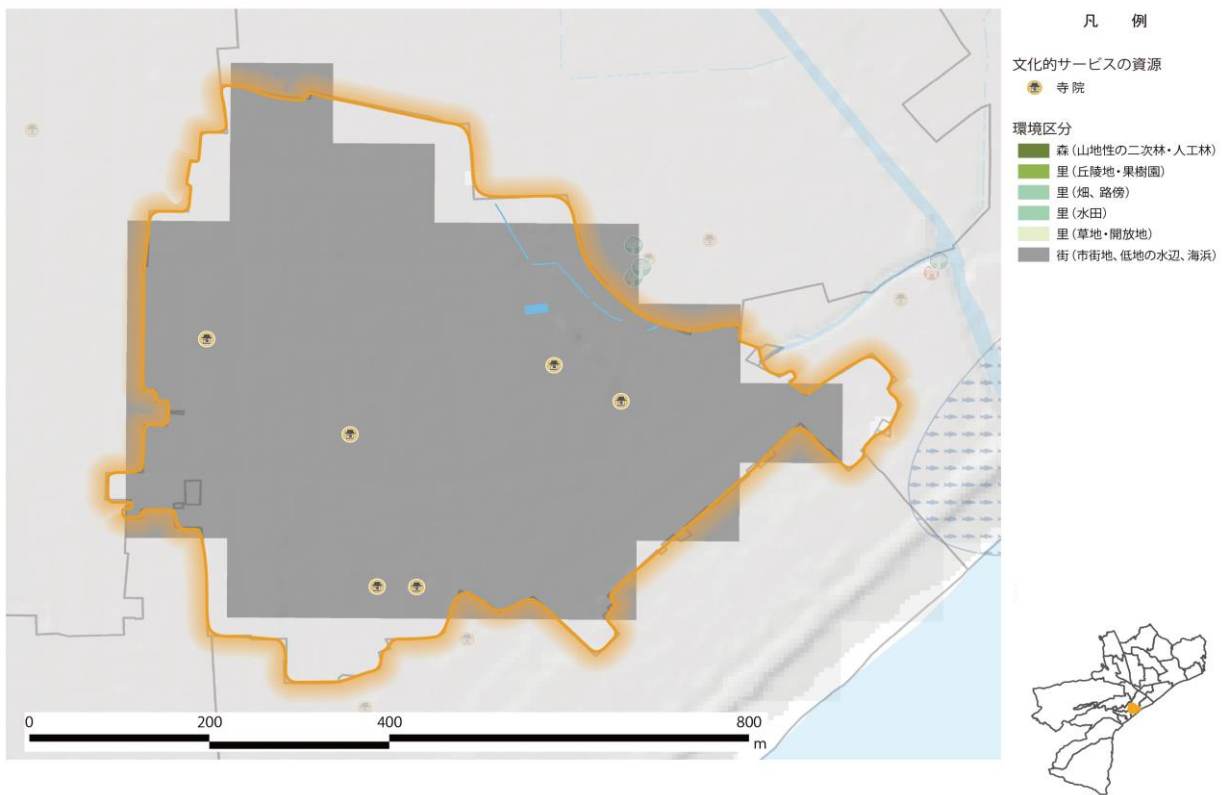


【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

身近にある緑など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

～文化的つながり～

- **神社・寺院**：寺院が多数あります。寺院の社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。



⁴ 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）